

用水季報

令和2年4月 創刊号
発行：美しい水の会
(090-1993-5903)
<http://bunji-yosui.org/>

砂川用水通水状況 : 令和2年1月1日から3月31日の期間で、並木公民館親水施設整備のため14日、立川市内でのごみ詰まりで6日、小平市での溢水のため4日で、合計24日間止水しました。



用水今昔 : 砂川用水は290年間多摩川の水が流れている国分寺市唯一の用水路



松中橋の砂川用水流入口

砂川用水は“新田開発”のための生活用水確保の社会基盤として1729（享保14）年に玉川上水から引水し開削され、昭島市と立川市の境に架かる松中橋で玉川上水から引水し（上写真参照）、並木町3丁目と立川市若葉町の境から上の地図のように南北に分かれて流れていました。しかし今、五日市街道北側には、水は流れていません。用水が開削されて290年の月日が流れました。多くの先人の努力により砂川用水は守られ、多摩川の水が流れる唯一の用水として、並木町公園やヤマモモ公園、並木公民館の北側をはじめ、随所に昔を彷彿とさせる姿が残っています。国分寺市は武蔵野台地上にあり、江戸初期にはチガヤが茂り、ところどころに雑木林がある火山灰地で、畑作には適さない荒れた土地でした。



国分寺のあゆみより引用



幕府の“新田開発”事業は農民にとって、土地を改良することから始まる大事業であったでしょう。江戸から昭和40年代まで、国分寺市域には砂川用水を含め8用水が流れていました。その後、井戸・水道の普及により用水の役割は終わり、都市化に伴いこれら用水は埋められ、下水道や道路になっています。長い歴史の中で残る用水の遺構を守り、次の世代に引き継いでいくことが大切であると考え、「美しい水の会」は上の地図の赤で示した8か所の美化活動を行っています。どのように用水を守っていくか？様々な課題がありますが、この用水は国分寺市の歴史基盤を作ったものとして極めて重要なものです。市とともに市民がその方策を考えていかねばなりません。ホームページ（<http://bunji-yosui.org/>）をご覧ください、皆さまのご意見をお寄せください。

用水美化活動 1～3月実績

場所	実施 日/月
若葉町境	1/25 3/5
並木町公園	毎週水曜日
北町地域センター	2/23 3/23
並木公民館	1/5 1/21 2/23 3/3 3/4
ヤマモモ公園	1/25 2/4 3/15

用水美化活動 4月～7月予定 現地に10時集合

活動予定日	場所	活動予定日	場所
5月13日(水)	ヤマモモ公園	6月27日(土)	並木公民館
5月22日(金)	並木公民館	7月6日(月)	北町地域センター
6月4日(木)	若葉町境	7月11日(土)	ヤマモモ公園
6月13日(土)	ヤマモモ公園	7月27日(月)	並木公民館

実施場所は変更の可能性あり。

連絡先：090-1993-5903

美化活動に必要な軍手や機材は、すべてそろっていますので、汚れてよい服装と長靴の用意をお願いします。

美化活動報告:並木公民館親水施設が改修されました



令和2年2月15日から2週間、砂川用水を止水し護岸改修が行われ、同時に水路を囲む木柵も3月4日に改修が完了。写真のように美しく整備されました。東京都の補助を受け20年ほど前に公民館親水施設として開設されましたが、長い年月の間に水路に泥がたまり、水に入ると靴が抜けられないほどのヘドロ状況で

した。美しい用水の会は市と相談し、水路の底上げ、砂利敷設、泥だまり作りなどを試し、今では幼児も水に親しめる澄んだ多摩川の水が流れるようになりました。生き物も多摩川から流れてきていますので、水を楽しんでください。また、親水施設でいろいろな催しのアイデアをお持ちのかたは、美しい用水の会にご連絡ください。楽しい親水施設にしましょう。

連絡先: 090-1993-5903 またはホームページ (<http://bunji-yosui.org/>) 「お問い合わせ」。



季節の用水: いま、用水路は 菜の花満開

写真のとおり、北町地域センター

並木町公園脇、ヤマモモ公園の護岸には、満開の菜の花が咲き誇っています。4月に降った花隠しの雪で枝が曲がったり折れたりしましたが、菜の花だけではなく紫色のダイコン花など色とりどりのハーモニーが心を癒してくれます。美しい用水の会は護岸を四

季折々の草花で美しく飾りたいと考え、いろいろな草花の種や移植を試しています。護岸や水路をどのように美しく次の世代に残すかという課題は、地域の皆さまと一緒に考え、美しい護岸を作り出し、皆さまと草花を育てていきたいと思っています。どんな草花が良いかなどアイデアをお寄せいただければ、ありがたいです!!

連絡先: 090-1993-5903。または「美しい用水の会」ホームページ (<http://bunji-yosui.org/>) 「お問い合わせ」。



北町地域センター用水跡地の菜の花



並木町公園北側の用水路に咲く菜の花



ヤマモモ公園脇用水の菜の花

イベント企画:春の花鑑賞会 中止

令和2年3月28・29日に実施予定であった

並木町公園での「春の草花鑑賞会」は雨天のため4月4・5日に延期されましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、最終的に中止となりました。この鑑賞会は時期を見て再度実施いたしますが、その折にはご案内いたしますので、多くの皆さまにお越しいただきたいと思っております。美しい用水の会は、会員一人ひとりの自由なイベント企画を会員相互に支援し実施する会です。用水や水に関係するさまざまなイベントのアイデアをお寄せください。連絡先: 090-1993-5903 またはホームページ (<http://bunji-yosui.org/>) 「お問い合わせ」。



【「美しい用水の会」会員募集】「美しい用水の会」は、2018年に設立し砂川用水美化活動のみでなく、恋ヶ窪村分水美化活動も行い、会員一人ひとりが国分寺の用水に関係するいろいろな活動、歴史の勉強、草花生育、イベント企画などを自由に行い、会員相互でそれを支援する団体です。年会費は¥500。みんな、このまちの用水、水、景観を楽しく保全しましょう。ご連絡は090-1993-5903まで、会の詳細はURL (<http://bunji-yosui.org/>) をご覧になり、ご連絡ください。

【編集後記】新型コロナ・ウィルスの猛威に戸惑いと緊張を感じ、美化活動も中止です。用水では、草花はコロナ騒動とは無縁に咲き誇り、スギナ、ドクダミが芽を出し始め、繁茂を始めます。これからの3か月は草との戦いです。予定通り活動できれば良いのですが..... (佐藤)